

平成 27 年度 事業報告書

- 1) 事業活動計画及び事業活動結果について審議・承認し、計画に基づき活動した。(三役会 11 回、部会 3 回開催)
- 2) 建設生産性向上、建設コストの縮減、品質確保の推進をテーマとして、次の活動を行った。
また、機電技術者の交流・育成に資する「場づくり」として意見交換会、現場見学会を企画・開催した。(機電技術者交流企画 WG)
 - ① 平成 27 年 10 月 8、9 日、第 19 回機電技術者意見交換会を開催した。(参加者 23 名) また、交換会の模様を平成 27 年 10 月 13 日、建設 3 紙に掲載した。意見交換会の報告書は、平成 28 年 3 月にホームページに掲載し、機関誌「建設機械施工」には平成 28 年 5 月号に掲載する予定である。
 - ② 平成 27 年 10 月 9 日に、「ロボットスーツ HAL の開発」「陸前高田震災復興事業」の講演会を開催した。
 - ③ 若手機電技術者の知識向上を目的とした見学会を開催した。
 - ・ 平成 27 年 7 月 13 日に霞が関シールド工事(施工者：前田・大日本 JV、参加者 21 名) 機関誌「建設機械施工」9 月号に見学報告を掲載した。
 - ・ 平成 28 年 2 月 18 日に中之島フェスティバルタワー・ウェスト新築工事(施工者：竹中工務店、参加者 27 名) 機関誌「建設機械施工」平成 28 年 4 月号に見学報告を掲載した。
- 3) 安全の推進、災害応急復旧技術の開発等として、建設機械の事故防止に資する諸活動を展開した。
 - ① 建設機械(クレーン以外)の事故・災害事例の収集・整理を実施した。収集した事例についてキーワード分類、発生要因分析等を実施中である。(建設機械安全情報 WG)
 - ② クレーンの事故・災害事例を収集した。そのうち、タワー式クローラクレーン転倒事故情報について、部会内への情報発信と再発防止に関するアンケート調査の準備を進めている。(クレーン安全情報 WG)
- 4) 新機種の開発、IT 化、情報化施工、自動化の推進として、次の活動を行った。
 - ① 平成 27 年 9 月 9、10 日、ICT 技術の利活用を促進するための「場」として、平取ダム建設工事(施工者：西松・岩田地崎・岩倉 JV)、厚幌ダム(安藤ハザマ・岩田地崎・田中 JV) の見学会を開催した。(参加者 14 名) 見学会報告を「建設機械施工」平成 27 年 10 月号に掲載した。
 - ② 平成 27 年 9 月 9 日に国土交通省における生産性向上の取り組みに関する説明会に参加した。(参加者 15 名)
 - ③ 平成 28 年 1 月 20 日に他業種ロボット技術の調査を目的として、コマツ栗津工場の見学会を実施した。(参加者 17 名) 見学会報告を「建設機械施工」平成 28 年 3 月号に掲載した。